

令和6年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	財務会計演習 I		担当教員	岩下 尚義		
	英語授業科目名	Financial accounting seminar I		単 位	4	学 期	通年
対象年次	1年次	クラス指定	なし	他との関連	財務会計特論 A, B		
履修条件	財務会計演習 A, B を同時に履修すること。						
テーマ・副題	企業会計における理論・制度・実務の現状分析, 課題抽出, 対応の方向性の提示						
授業の教育目的・目標	本授業は, 2年次に履修する「財務会計演習 II」における修士論文のテーマを見出すことを教育目標とする。						
授業の理解度の到達目標	先行事例を研究することで, 会計学における論文の有用性や適時性を学び, 同時に修士論文に求められる問題意識や結論への導き方, 会計思考を養成する。修士論文を作成するための, 思考や知識の土台を築くことが到達目標である。						
授業キーワード	財務会計, 国際財務報告基準 (IFRS), 国際会計基準, 企業会計基準, 等						
授業の内容	会計の理論や論文の研究・討議を通じて, 研究テーマを確定する。						
授業の方法	前期は, 会計論文の事例研究をしたうえで, 指定研究論文または指定図書の要約発表と討議を中心に授業を進める。後期は, 各自の修士論文のテーマの絞り込みや構想についての発表と討議を中心に, 授業を進めていく。						
授業展開	<b>【前期】</b> 1. 講義ガイダンス 2. 会計論文とは (事例の紹介, 概要) 3. 会計論文の書き方① (会計思考) 4. 会計論文の書き方② (論文の形式) 5. 会計論文の事例研究, 解説① 6. 会計論文の事例研究, 解説② 7. 会計論文の事例研究, 解説③ 8. 会計論文の研究発表と討議に向けて 9. 会計論文の研究発表と討議① 10. 会計論文の研究発表と討議② 11. 会計論文の研究発表と討議③ 12. 会計論文の研究発表と討議④ 13. 会計論文の研究発表と討議⑤ 14. 会計論文の研究発表と討議⑥ 15. 前期のまとめ			<b>【後期】</b> 1. 前期の振り返り 2. 研究論文の構想発表, 事例研究と討議① 3. 研究論文の構想発表, 事例研究と討議② 4. 研究論文の構想発表, 事例研究と討議③ 5. 研究論文の構想発表, 事例研究と討議④ 6. 研究論文の構想発表, 事例研究と討議⑤ 7. 研究論文の構想発表, 事例研究と討議⑥ 8. 研究論文の構想発表, 事例研究と討議⑦ 9. 研究論文の構想発表, 事例研究と討議⑧ 10. 研究論文の構想発表, 事例研究と討議⑨ 11. 研究論文の構想発表, 事例研究と討議⑩ 12. 研究論文の構想発表, 事例研究と討議⑪ 13. 研究論文の構想発表, 事例研究と討議⑫ 14. 研究論文の構想発表, 事例研究と討議⑬ 15. 後期のまとめ			
成績評価方法	課題の発表内容 (60%) および授業への取り組み姿勢 (40%) を評価要素とする。						
成績評価基準	成績は総合点で 80 点以上を A, 79~70 点が B, 69~60 点が C, それ以下を D とする。						
テキスト	なし						
参考図書	適宜授業の中で指示する。						
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	事例の研究発表 (レジユメの作成・プレゼンテーションの準備) は, 修士論文作成のための準備学習であることを認識すること。また, 各回で発表者以外の学生も討議に備え, 事例を精読し, 各々の疑問点や考察を用意すること。						
学生へのメッセージ	修士論文は今後の実務において会計思考の軸となる大変重要なものです。問題意識を持ち, テーマを早めに決めることで, より多くの事例研究を行い, 説得力や有用性を確保した論文を目指しましょう。						
オフィスアワー	授業の前後または下記のメールにより受け付ける。						
連絡先	電話番号	0274-42-2828 (内線: 5407)		メールアドレス	iwashita@jobu.ac.jp		
人数制限	なし						